



美しい国から“オホーツク”寄付金の贈呈式が開催されました。



小清水峠より屈斜路湖を望む

5月22日(水)、北海道オホーツク総合振興局において、第2回寄付金贈呈式が開催されました。2017年から始まった「美しい国から」プロジェクト。プロジェクトのコンセプトにもあるように、生産地域の環境保全、地域振興を応援するために、商品の売上金の一部を寄付することになっています。

今回は3回目の寄付で、ふるさと納税として72万3,409円を寄付しました。同日、佐藤社長が振興局を訪れ、藤田二(ふじた すすむ)局長に目録を手渡しました。



▲贈呈式で目録の授与



▲贈呈式前の懇談



▲贈呈式翌日の北海道新聞朝刊記事

佐藤社長は「オホーツクの生産者や美しい景観を今後も応援していきます」とお話しされました。藤田局長は「前回いただきました寄付金につきましては、オホーツク管内の小学生に自然環境や環境保全の必要性や素晴らしさを知っていただく為のパンフレットを作らせていただきました。今回につきましても同様の目的のために使わせていただきます。」と感謝の言葉とともに述べられました。